

2017年10月15日発行

第 615 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

### 新理事長就任あいさつ

皆さま、はじめまして、この度、理事長を拝命いたしました飯野順子と申します。よろしくお願いいたします。

昭和34年、創設者の草野熊吉先生は、障害のあるお子さんを抱える家庭の困難な状況を知り、「この子どもたちが、安心して生活ができる施設をつくらうと思った」と開園の目的を語っておられます。重症児を守る法律もなく、どのような施設を創れば良いのかも分からず、ただ、子どもたちの幸せを願う気持ちから、始めた事業だったそうです。

また、約10年後の昭和48年、厚生労働省の職員研修会で、「開拓は、茨の道だった」と語っておられます。この短い言葉は、歴史の重みとして、私たちの胸に響きます。そして、その言葉に込められた思いや願いを、私たちは、今、受け止めつつ、これからの新たな秋津療育園の歴史を、関係する方々と力を合わせて、創っていく責務を感じています。

私は、長い間、障害のある子どもたちの教育に携わってきました。現在は、NPO法人地域ケアさぼーと研究所の理事長として、18歳以上の障害の重い方々の、生涯にわたって学び続けたいという願いに即して、学ぶ喜びのある機会と場を提供する「訪問カレッジ」を行っています。



それを通して分かったことは「障害が重くても何歳になっても、緩やかではあるが、成長・発達を続けている」ということです。

草野先生は、「生命を尊重することを中心の柱として、自分で食事をできるようにすること、自分の意思を他の人に伝えられるようにすること、この三つの願いをもって、この仕事を始めました」と語っておられます。

先日、園内を白井園長に案内していただきました園生は、笑顔、優しい目、言葉にならない声などで自分の意思を伝えてくれました。草創期の園長先生の願いが、着実に受け継がれ、一人一人の緩やかな発達を促す環境の中で、心豊かに生活していると思

いました。このことは、すべて、安心・安全で安寧な看護の提供、健康で穏やかな生活への支援など行き届いた配慮と支援のもとでの、日常生活の積み重ねに拠るものと思いました。

更に、ここにお集まりの後援会やボランティアの皆さまを始め、秋津療育園に関わる多くの方々の温かいご支援の賜物と、改めて感謝申し上げます。

これからも時代の要請に応える事業を展開しながら社会に貢献できる秋津療育園として、成長して参りますので、引き続き、皆さまのご支援をお願い申し上げます。

### バレーボール大会

平成29年8月5日(土)「東京都健保組合主催バレーボール大会」が行われました。今年はバレーボール経験者の今年度採用の職員が4名加わり、男女ともに良い結果に繋がるよう、日々の練習も今まで以上に力をいれていました。

予選は3チーム総あたり戦で私たちのチームは惜しくも1勝しか出来ず、決勝リーグには上がりませんが、練習の成果が出せたと思います。男子も同様1勝1敗という結果で終わってしまいました。

今年は男女ともに大会の空気に飲まれ、悔しい結果に終わりましたが、この大会を通し、チームワークの大切さや今後の課題が見つかったと思います。また来年の大会では、今大会より1つでも多く勝つことができるよう、より一層日々の練習を頑張りたいと思います。今後のご声援のほどよろしくお願いいたします。





太鼓公演



最高の笑顔で参加！



秋 津 納 涼 会



太鼓たたいてみました



大物釣るゾ！



ワニワニパニック



盆踊り



子供たちと仲良く



祭

輪投げ上手に入れられたかな？



祭

紙飛行機作りしました



## 各棟の様子



待ちに待ったデザートバイキングです。園生の目もキラキラ輝いていました！さらに、一口食べると幸せそうな笑みがこぼれます。たくさんスイーツを食べて、至福の時間でした

### 1病棟



### 2病棟

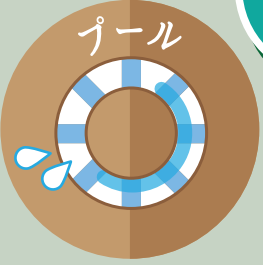


甘いもの最高！  
みんなを笑顔にしてくれる！  
栄養課の皆さん、ごちそうさまでした！



3棟プール遊び：みんな大好きなプール遊び。職員にたくさん水をかけてご機嫌だったり、浮き輪に乗ってユラユラリラックスしています

### 3病棟



### 4病棟



あれもこれも食べたいけど食べるうちにどんどんお腹一杯になって、食べる量が限られてきてちょっと寂しいです。でもデザートバイキングは色々な物が食べられて楽しかったです。



今年の出店は「宝釣り」と「空気砲」！  
宝釣りはアイドルの写真が付いた紐を選び引っ張る！  
宝を釣ることより、どのアイドルの写真を選ぶかを真剣に悩む利用者さんやご家族も…。  
釣り上げた宝物にも大きな歓声が上がりました。

### 通園

空気砲では「コレ！」と決めた的の前に立ち空気砲を放つのも違う物が倒れるハプニングも続出！！  
限られた時間での納涼会を笑顔いっぱい楽しみました。



## 「通園センター」電話番号変更

10月10日より  
「通園センター」は直通電話になりました  
新しい番号は

☎ 042-306-1336

FAX 042-306-0138

です

## 秋津療育園大規模修繕工事のお知らせ

8 月下旬より秋津療育園の大規模修繕工事が行われております。外壁は補修をして塗装を行い、療育棟と管理棟の屋上は防水の工事を行っております。また、各門に防犯カメラの設置を行い、駐車場にゲートパーシシステムを設置しました。そして、ボイラー設備の改修工事も行います。工事中、何かとご不便で迷惑をおかけすると思っておりますが、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

## EPA 事業について

秋津療育園では、日・インドネシア経済連携協定に基づき、インドネシア介護福祉士候補者の受入事業を実施いたします。平成 29 年 12 月より、インドネシア介護福祉士候補者受入れ事業の第 1 期生としてユディ・アントニウス氏とモチ・ザムザム・ラジャブ・アウェルディン氏の二人を介護福祉士の国家試験合格を目標に 3 年間、迎え入れます。初めての事業なので、職員、後援会並びに秋津療育園関係者様には、ご迷惑をおかけすることがあると思っておりますが、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。



(ユディ氏 左側とザムザム氏)

以下、厚生労働省HPより抜粋

【この受入れ枠組みは、候補者本人が国家資格の取得を目指すことを要件の 1 つとして、研修など一定の要件を満たす病院や介護施設での就労を特例的に認めるものであり、一人でも多くの外国人候補者が看護師や介護福祉士の国家資格に合格し、その後、継続して日本に滞在することが期待されています。そして、この受入れ枠組みは、単なる単純労働者を雇用するための物ではありません。国としては専門的・技術的分野の外国人労働者の就業を積極的に推進する一方、いわゆる単純労働者の受入れなど、外国人労働者の受入れ範囲の拡大は、国内労働力、特に若者、女性、高齢者等の雇用など、労働市場への影響などを考慮する必要があります。また、医療・介護サービスの安全性の確保・質の向上には、日本の国家資格の取得は必要・重要です。

そのため、候補者が資格取得に必要な知識・技術の習得に精励するのはもちろん、受入れ機関(施設)は国家資格の取得を目標とした適切な研修を実施することが責務とされており、国としても受入れ機関(施設)での円滑な就労・研修を支援する各種取組を進めています。

それぞれの受入れ機関(施設)の受入れの目的は「国際貢献・国際交流のため」「職場活性化のため」「将来の外国人受入れのテストケースとして」など様々と思っておりますが、こうした受入れの枠組みの趣旨をご理解いただき、国家資格取得前は受入れ施設において、国家資格の取得を目標とした国家試験対策、日本語学習等の適切な研修を実施することが何よりも重要です。】

## 行事予定(11月～1月)

- 11月 5日㊤ あきつこどもの日  
文化祭記念講演
- 10日㊤ 昼食バイキング(1棟)
- 18日㊤ 昼食バイキング(2棟B)
- 25日㊤ 昼食バイキング(3棟)
- 12月 3日㊤ あきつこどもの日  
誕生会
- 6日㊤ 義務教育連絡会
- 23日㊤ クリスマス会
- 1月 7日㊤ あきつこどもの日  
誕生会  
合同虐待防止検討委員会
- 15日㊤ 誕生会

## 人事

- 【採用】絹笠 麻衣子(看護師) 杉園 真理子(生活指導員) 安達 久(臨床検査技師)
- 【退職】弓倉 憲(通園センター) 齋川 紀子(医師) 根崎 末利子(薬剤師) 佐藤 京子(病棟用務員) 鈴木 辰巳(病棟用務員)

## ご寄付 皆様のご厚意に御礼申し上げます

- 金 20 万円 緒方謙二郎様 ●金 12 万 3 千円 宮地幸子 様 ●8 2 円切手 20 枚 酒井幸子様
- バスタオル・エプロン 287 枚 東京第三友の会様
- マジックテープ 10 枚 辻井 健様
- 食事エプロン 114 枚 武蔵野友の会 様
- フェイスタオル・靴下 計 46 個  
さいたま市立高等看護学 様
- ミニトマト 5.8 kg 絵森妙子様 ●絵画 計 2 枚  
(社)日本民生文化協会内慈彩会 様
- Tシャツ 10 枚 ケイゴルフサービス代表 神津信一様

6 月の定時評議委員会の終結にて村田篤司理事長が退任され、その後、飯野順子新理事長へと「重症児の福祉は本音で、療育は心で人の手で」の精神が受け継がれました。重症心身障害児・者施設の担い手となるために秋津療育園は新たなスタートを切ったのだと思います。納涼会も無事に開催することができました。今後とも、秋津療育園後援会、全職員への感謝の気持ちを忘れずに、園生の幸せを願って働きたいと思っております。(小池剣)